

発行日：2024年3月 発行元：海南吸入指導スキルアップ研究会

2023年度の吸入指導スキルアップ研修会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、約3年ぶりの現地開催となりました。本号では、2023年度の吸入指導スキルアップ研修会の様子をご紹介します。

第12回吸入指導スキルアップ研修会（2023年8月23日開催）

〈プログラム〉

1. 「喘息予防・管理ガイドラインの変遷」 海南病院 呼吸器内科 武田典久
2. 「新・吸入指導依頼書報告書の運用と改定ポイントの紹介」 海南病院 薬剤部 野村祥子
3. 「シムピコート・ビレーズトリのデバイスに触れて、新吸入指導報告書を使ってみよう！」 浅井薬局 山洞直樹

講演1では、日本アレルギー学会専門医の武田先生が「喘息予防・ガイドライン2021」をもとに、吸入デバイスを中心とした治療選択について解説をしました。

講演2では、院内での吸入指導の実際についてと、2023年6月から運用を開始した「吸入指導依頼書報告書」の改訂ポイントをご紹介します。改訂ポイントの解説を踏まえて、講演3では参加者のみなさんに簡単なロールプレイをした後で、実際に新しい吸入指導依頼書報告書の記載をしていただきました。記入漏れしやすい項目の説明や、評価やコメントに記載することのポイントなど、実践的な練習をしていただくことができました。

○参加していただいた先生方のコメント紹介○

ひさしぶりに参加できて楽しかったです



吸入薬の再指導は、患者さんに提案しても、できているから大丈夫と言われてしまうことが多いです。医師から確認するように指示が出ているためと話す、再確認にに応じていただきやすくなる気がします。

病院の薬剤師と話す機会があり、入院の際は…薬局では…と情報交換できたのが楽しかったです



	治療ステップ1	治療ステップ2	治療ステップ3	治療ステップ4
ICS(低用量)	ICS(低～中用量)	ICS(中～高用量)	ICS(高用量)	ICS(高用量)
上記が使用できない場合は以下のいずれか1剤を用いる	上記で不十分な場合に以下のいずれか1剤を用いる	上記に下記のいずれか1剤、あるいは複数を用いる	上記に下記のいずれか1剤、あるいは複数を用いる	上記に下記の複数を用いる
LABA (配合剤の併用可)	LABA (配合剤の併用可)	LABA (配合剤の併用可)	LABA (配合剤の併用可)	LABA (配合剤の併用可)
LTRA テオフィリン徐放製剤 ※症状が軽ければ必要なし	LAMA (配合剤の併用可)	LAMA (配合剤の併用可)	LAMA (配合剤の併用可)	LAMA (配合剤の併用可)
	LTRA テオフィリン徐放製剤	LTRA テオフィリン徐放製剤	LTRA テオフィリン徐放製剤	LTRA テオフィリン徐放製剤
		抗IL-4Rα抗体	抗IL-4Rα抗体	抗IL-4Rα抗体
		抗IL-5抗体	抗IL-5抗体	抗IL-5抗体
		抗IL-13抗体	抗IL-13抗体	抗IL-13抗体
		抗IgE抗体	抗IgE抗体	抗IgE抗体
		経口ステロイド薬	経口ステロイド薬	経口ステロイド薬
		気管支拡張剤	気管支拡張剤	気管支拡張剤
追加治療	アレルギー免疫療法 (LTRA以外の抗アレルギー薬)			
発作治療	吸入SABA	吸入SABA	吸入SABA	吸入SABA

新・吸入指導依頼書報告書 誕生

保険薬局にて、記入をお願いします。

第13回吸入指導スキルアップ研修会（2023年12月6日開催）

〈プログラム〉

1. 「みんなが聞きたい吸入指導の話」 海南病院 呼吸器内科 村松秀樹
2. 「保険薬局での実例紹介」 調剤薬局とまと 清水有由実
3. 「患者さんのエアゾール吸入手技を評価してみよう」 浅井薬局 山洞直樹

講演1では、医師による吸入薬の処方と指導の実際について、当院の呼吸器内科医師を対象としたアンケート結果をご紹介します。保険薬局での吸入指導にも役立つアンケート結果だと思いますので、今後の吸入指導だよりで改めてご紹介したいと考えています。

講演2では、保険薬局に患者さんが吸入指導依頼書報告書を持って来た際の指導の仕方から算定の取り方まで、具体的な流れをご紹介します。

吸入薬の処方時



診察室で医師は何を考え、どんな説明をしているのだろう？

講演3では、患者さんが吸入をしている様子の動画をみて、実際に吸入指導報告書の評価欄の記入をしていただきました。同じ患者さんの手技をみてても薬剤師によって評価を○にしたり、△にしたり様々です。参加していただいた先生方と、手技評価に関する情報交換ができる良い機会になりました。今後も、なるべく皆が同じように患者さんの吸入手技を評価出来るような研修を企画していきたいと思っております。ちなみに、少しでも評価に迷ったときは、上手くコメント欄を活用して手技の様子を医師に伝えられると良いですね。

残薬・副作用確認の声掛け

- 吸入は1日何回(何吸入)、何時にしていますか？
- 薬に何が残っていますか？
- 吸入薬は1本、何日くらいでなくなりますか？
- (スプロイト製) 口の中が白くなった、ヒリヒリした痛みはないですか？
- (B-2製薬製) 手の震えや動悸はありますか？
- (ステロイド製) 声のかすれが気になりますか？
- (抗コリン薬) 目が眩しく、顔が赤く、息が苦しいと感じる事がありますか？

○参加していただいた先生方のコメント紹介○

多くの先生方に楽しんでいただき、大変嬉しく思います！（研究会一同）



報告書②では、患者さんのデバイス使用方法の善し悪しが過去と比較しながら確認できるので、便利だと思いました。

評価項目が明確になり、指導しやすいと思いました。評価基準もお話しいただき、大変勉強になりました。

慣れないワードに詰まるところもありましたが、興味深い内容で、やはり久しぶりに参加した甲斐がありました。



海南吸入指導スキルアップ研究会は、コロナ禍においても研修会のWeb開催や、「吸入指導だより」で情報発信を続けてきました。しかし、吸入薬のような手技指導が重要な薬剤は、実薬に触れたり、指導に関する意見交換をする機会がとても大切だと改めて実感することができました。今後も多くの先生方のお役に立てる研修会の企画を続けてまいりますので、ぜひご参加いただけますと幸いです。

2024年度海南病院研修会開催予定

- 6月頃 腎臓関連
- 9月頃 吸入指導
- 12月頃 がん

※現時点で考えているものです。変更になる場合があります。
※こんな勉強会を開催して欲しい！などご意見がありましたら、アンケートに記入をお願いいたします。

体験談募集中！！

皆さん、吸入指導で経験した珍しい出来事や困った事例はありませんか？
今後の情報発信の参考にさせていただくので、
教えていただける方は、アンケートに記入をお願いいたします。

海南病院ホームページにバックナンバーあります！

診療科・センター・部門＞薬剤部＞保険薬局の皆様へ

下記のいずれかの方法で回答をお願いいたします。

- ・本紙に記入してFAX送信：0567-66-1151（海南病院）
- ・Googleフォームで回答：下記のQRコード

Googleフォームでの回答受付は2024年4月30日まで
※FAXの回答は随時受け付けます！

～アンケート～

① 吸入指導を行う中で、困っていることや疑問に思っていることがありましたらご記入ください。

② 新書式の吸入指導依頼書報告書のご感想を教えてください。

③ どんな研修会に参加してみたいですか。 例：吸入のロールプレイ、心不全、糖尿病など

④ その他、ご意見やご感想などをご自由にお書きください。
*吸入指導の体験談もあれば、こちらにできるだけ詳細に記入してください。

最後に、差し支えなければ、施設・店舗名・氏名・連絡先（施設の連絡先でも可）をご記入ください。

*吸入指導の体験談について、掲載の確認をさせていただく場合があります。

施設・店舗名（ ）ご氏名（ ）

メールアドレス（ ）

ご協力ありがとうございました。次回もお楽しみに！！

